

平成 19 年度 四臨技主催 管理・運営研修会プログラム

日時：平成 20 年 2 月 17 日（日） 9：00～15：00

会場：（財）愛媛県総合保健協会 9 階大会議室（地図参照）

松山市味酒町 1-10-5 Tel089-987-8205

（駐車場は完備されていますが満車の場合、詰込みとなります。）

会費：1,000 円（受講料、資料代金として）

昼食はランチョンセミナーとして参加者全員に準備致します。

主催：四国臨床検査技師会

メインテーマ： 出来ていますか？ 検査室の危機管理

9：00～9：30 受付

9：30～9：35 開式の辞

9：35 ～ 10：35

「救急医療において質の高い緊急検査を行うために」

～観る目・嗅ぐ鼻・聞く耳を養おう～

大阪府立泉州救命救急センター 検査室

福田篤久 先生

10：45 ～11：45

「救急医から臨床検査技師に望むこと。」

愛媛大学医学部附属病院 救命救急部

前田惣一 先生

12：00 ～ 13：00

ランチョンセミナー

ロシュ （フィブリンモノマー複合体検査）

和光純薬 （敗血症の迅速診断検査）

デンカ生研 （ノロウイルス抗原検出検査）

ヤシマライフ （物品管理システムと収支管理サポート）

13：00 ～ 14：00

「院内感染アウトブレイクへの対応」

松山記念病院 ICD

山内勇人 先生

14：00 ～ 15：00

「震災時の病院/検査は・・・阪神大震災の経験から」（仮題）

神戸常盤短期大学

向井正彦 先生

15：00 ～ 閉会の辞

来ていますか？ 検査室の危機管理

～ 緊急検査、大規模災害時の備えは万全ですか？～

近年、救急医療の現場の、産科、小児科領域での医師不足により起こる事例や救急医療でのトラブルが社会問題化しています。また、新潟・福井を襲った震災は四国地方に暮らす私たちにも身近な問題として考えなければならない事です。そこで、本年度の四国地区臨床検査技師会 管理・運営研修会は検査室での危機管理について企画致しました。救急医療に限らず院内で様態急変された患者さんへの対応や、日常遭遇する可能性のある救急対応、そして院内感染防御など、チーム医療の中で患者さんに接する事が多くなった私たちに非常に役立つ研修会です。多くの参加をお待ちしております。

福田先生には

救急医療の最前線での問題、経験した事例から学んだ事、検査の工夫など。

前田先生には

救急医から見た臨床検査技師への提言、職域の広がり可能性、様態急変者への対応 (AED を含む)

ランチョンセミナー 3～4題

山内先生には

院内感染アウトブレイクへの日常での対応、もしもアウトブレイクが起こったら、などの視点から施設規模に限らない検査室から発信してゆける対策について。

向井先生には

阪神淡路大震災時に経験された事例を基に、臨床検査技師としての役割や準備への提言。

申し込み・締め切りについて

FAX, E-mail または 郵送で*平成20年2月8日までにお知らせ下さい。

790-0858

松山市道後姫塚乙21-21 道後温泉病院 検査室 土居修 宛

TEL/FAX 089-932-6378

E-mail : tyuyomt@quartz.ocn.ne.jp

[県] [施設名] [施設番号]

会員番号 氏名	会員番号 氏名	会員番号 氏名
会員番号 氏名	会員番号 氏名	会員番号 氏名